



もりの手紙

mo ri no te ga mi

11
霜月

NO 340 / 2025

森にこよう!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

e-mail. info@morimate-ch.com

url. https://www.morimate-ch.com/



声かけあって
事故を起こさない!
起こさせない!
目指そう
安全・安心・楽しい
森づくり活動を!!

contents

★11 月例会案内

「黄金山」見晴らしを取り戻そう

11 月 30 日(日) : 黄金山山頂
..... 2

★例会報告 : 「河平連山」

～登山道整備 中止～

..... 3

★各部会報告

・里山 : 支障木伐倒 秋の味覚を楽しむ

・クラフト : 干支準備

..... 4

★環研部会報告

・第 2 回もりメイトキッズ開催他

..... 5

★森づくり啓発シリーズ

・太田川源流の森間伐体験指導

・広テレ「森から防災教室」

..... 6 & 7

★11 月・各部会活動予定他

募集! 干潟のアシ刈り

..... 8



第 2 回もりメイトキッズ。石川五右衛門と子ども達 P5にて報告

私たちも 森づくりを応援しています。

◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社

◆イオンリテール株式会社 イオンスタイル広島府中
(イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン)

◆(有)ジェイ・アセット・マネジメント

◆公益信託 富士フィルム・グリーンファンド

《 ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略 》

もりメイト倶楽部
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来に残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

みんなで森づくり : 健康で生き生きした森を育てます。

森を育てる技術を磨く : 森づくりを学び、日々実践・研鑽。

森から学ぶ : 人と森との関わりを学びます。

森の恵みを伝える : 恵みを利活用し、広げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。
広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています!

広島市民賞、ひろしま県民活動県知事賞、広島ユネスコ活動奨励賞、全国林業普及協会会長賞など受賞歴多数。

案内



11月例会 《担当：1班》



「黄金山」見晴らしを取り戻そう！

【黄金山山頂エリア活性化推進協議会】との協働作業
地元の方々と、見晴らしをよくする為の整備を行います。

◆日 時： 11月30日（日）9時～15時少雨決行
※担当班のメンバー＆リーダーは8時までに現場へ集合して下さい。

◆会 場：【黄金山山頂】

《駐車台数が限られています。連絡を取り合い、出来るだけ乗り合わせて
ご参加ください。尚、当日は、駐車係員の誘導に従って駐車してください。》

◆持参物： 山の道具・飲み物・名札・昼食

※ 準備出来る方は鎌、チェーンソーとチャプス(チェーンソー保護服)、スパイク付き地下足袋等、
安全に作業できる服装で参加してください。

※ 会員外(地元除く)で参加される方は、参加費500円ご準備ください。

◆申込み： 11月19日（水）までに各班長へ連絡。

※賛助会員その他参加希望の方は

事務局へ電話かメールでご連絡下さい

090-6419-7531 : info@morimate-ch.com



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、2008年3月から黄金山を整備する活動に関わっています。
今回の作業は、昨年に引き続き、見晴しが望めず『ぜひ整備を手伝って欲しい』と「黄金山山頂エリア活
性化推進協議会」からの要請を受け、山頂付近の整備を行います。今後も、地域と共に、環境保全、眺
望改善、地域の活性化につながる活動を、地域貢献活動として展開していきたいと思っております。
伐った後の処理にもたくさんの手が必要です。皆さん、奮ってご参加下さい。《写真は昨年の例会から》

【黄金山山頂エリア活性化推進協議会】は、大河、黄金山、仁保、楠那の4つの学区の社会福祉協議会等で構成されており、
広島市街を眺望できる黄金山の山頂エリアを、魅力的な観光資源として活性化し再整備するための取組を行っています。



12月14日(日)小川フィールドにて「チェーンソー研修会」を行います。講師は井本さん。詳細は次号にて。乞うご期待！



「河平連山」登山道整備

実施：9月28日(日)

～松枯れ目立つ登山道を安心して楽しんで頂くために～

9月例会

参加：会員26名



登山道の作業は、雨のため、止む無く中止



集会所にて朝のミーティング。なんとこの後雨が。。



中本自治会長あいさつ。



作業を説明する北田班長(左)

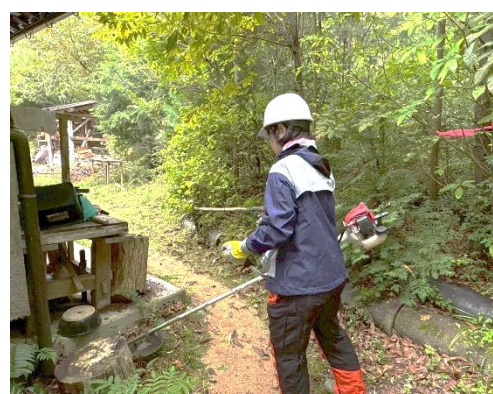
■当日は松ヶ原町の集会所にて集合。受け付けを開始した8時30分には、雨は降っていませんでした。作業班ごとの機工具の準備、現地乗り合わせる車両選びなどを進めながら、作業班リーダーと打ち合わせを初めてまもなく小雨が降ってきました。当地の天気は、9時より小雨、12時より雨脚が強くなるとの予報で、作業エリアが急な上り坂の続く登山道となるC班D班の作業は止めて、A班B班のエリアで作業する方向で決まりかけた8時55分頃、急に雨脚が強くなりだしました。各班のリーダーとの話し合いで、作業が中途半端で終わる可能性が高いだろうとの判断の下、やむを得ず例会を中止する事に致しました。

■強い雨を避け、集会所玄関の軒下に集合。9時に富田副理事長の挨拶に続き、地元の中本自治会長の挨拶を頂き、その後、皆さんに例会の中止を伝えました。地元自治会からジュースの差し入れがあり、多少気が引けましたが、ありがたく頂戴致しました。

■雨の中、機工具の片付け、軽トラックへの積み込みを終え、とりあえず解散となりました。解散後、もりメイトキッズフィールドが近いことから、15名ほどフィールドの見学に行かれました。また、一部の方は、東登山口から、5号峰まで登られたとのこと。各自安全には細心の注意を払ってのトライでしょうが、雨の中、急な上り坂の続く東登山口ルートなのでとても気がかりでしたが、無事下山。【2班 班長 北田正仁】



つかの間の雨上がり。みんなでフィールドを整備しました。



草刈り機で周りをきれいに。

感謝
を込めて。

★当日例会初参加の賛助会員、原戸祥次郎さん(元「森と水と土を考える会」代表)から刈り払機の替刃12枚、また、長年、神の倉山で大変お世話になった加藤さんが、先月の会報発送時においで下さり1万円のご寄付をいただきました。重ねてお礼申し上げます。～写真は例会に参加された原戸さん～





★10月12日(日): 妙國寺フィールド 参加者12名 里山部会長 佐藤謙治

■ 9:00~15:00 参加者 12 名: 早朝の爽やかな秋晴れ、ミーティング後作業開始。徐々に 32 度近くの夏日となる中、半年間手入れをしていないフィールドの草刈りと林内の落枝整理、支障木の伐採を行った。昼食は、皆が持ち寄った甘柿・梨などで元気を付けた後、10 月 26 日の例会・育成講座生との体験活動の下準備を行う。

また、フィールドの栗拾い、柿収穫など秋の里山を楽しんだ。振り返りミーティング時には明野さん菜園(柿、なすび)、住職よりアイス・飲み物の差し入れと、心洗われる説法を拝聴し元気を頂いた活動であった。以下、今期入会の谷増美穂子さん寄稿。

『容赦ない夏の日差しの中、刈り終えた草の牧草のような香ばしい匂いを胸いっぱい吸い込んだら、キンモクセイもほのかに香り、夏と秋の間にいるなあ、と実感。妙國寺には鈴なりの柿や栗の木もあり、自然の豊かさを感じる一方で、先輩方の使い込まれた道具を見ながら(私の道具は新品のようだ…。)反省。

使う機会を増やすべく、今後も地道に活動をしてゆきたいと思います。 《5 班 谷増美穂子》 』



草刈り。山田さん・鋤田さん(後方)



栗拾い。栗落し?



休憩(住職の説法拝聴)



★10月4日(土) 11日(土) 9:00~15:00 参加者11名 クラフト部会長 岩田 幸信

■ 10 月に入り、朝晩の冷え込みと昼間の寒暖差が身体にこたえ寒暖差アレルギーに悩まされる日々が続きます。今月のクラフト部会は、4 日 5 名、11 日 6 名の参加がありました。4 日のクラフト部会は、吉和にて広島水道局主催のイベントがあり、参加者がいつもよりも少なくなりました。この日の作業は、10 月 25 日に広島市植物園で行われた、「秋のグリーンフェア」、11 月 3 日に行う広島森林市公園で行われる「森の市」の出店の準備作業と、来年の干支

の馬のデザイン選定会議を行いました。11 日のクラフト部会では、前回行った干支の馬の試作品を作り、一部は自宅で作成した作品を持寄り最終選考を行いました。同時に「秋のグリーンフェア」「森の市」の準備も行い、この日、もりメイト育成講座 29 期生の鋤田さんが、準備で大変なると助っ人参加をして下さいました(ありがとうございます)。干支の下絵写しとテーブルソーを使い干支の馬の切取りをさせて頂きました。このテーブルソー、

9 月に壊れていたのですが、部品の発注から修理に至るまで山地さんと私が担当し修理。経費削減にもなり良い経験が出来ました。

■ クラフト部会、今年は、12 月 27 日まで大小様ざまな出店要請があり、助っ人を募集しています。お試しでも良いですから一度足をお運び下さい。お気軽に連絡ください、お待ちしております。



テーブルソーの指導を受ける沖野さん: 右は佐渡さん

↑ 干支の下絵を書く鋤田さん

↑ 部材加工中松岡さん

干支馬準備中



2025 年度 第 2 回 もりメイト キッズ 開催



■開催日：2025 年 10 月 19 日(日曜日) 開催場所：大竹市松が原キッズ フィールド

■参加人数：20 名(子供 9 名 保護者 11 名) スタッフ：20 名



釜茹でにされる石川五右衛門

天候が気になる曇り空の中、小さな子ども達が元気よく参加してくれました。今回は、石川五右衛門(演じるは 4 班の福本さん)にスポットを当て、始めに大泥棒の五右衛門が捕らえられ、見せしめに釜茹でされたという当時の人々にとってセンセーショナルであったであろう内容を寸劇で表現しました。恵まれたことに、キッズフィールドには、囲炉裏と五右衛門風呂があるのです。



【午前：柴刈り、五右衛門風呂焚き体験】

■その釜茹でから名付けられた「五右衛門風呂」に水を汲み、柴刈りした小枝を背負子で運び、運んだ小枝と薪で火を焚いてお湯を沸かす。という一連の作業を、子供たち中心で行いました。水をお風呂に溜めるのに苦労をし、火を付けて湯が湧くまで火を焚き続け、無事お湯を沸かすことができました。また、お昼ご飯のサラダ作りを体験。レタスをちぎり、ゆで卵を切ってお皿に盛り付けカレーライスと一緒に美味しくいただきました。



柴を背負子に乗せ背負うキッズ



五右衛門風呂の火焚きの様子



ゆで卵をカットするキッズ



【午後：五右衛門風呂で足湯体験&ジャガイモを炭火であぶって食べる】

■午後は沸かした五右衛門風呂で足湯を体験。倶楽部で製作し準備した台座を風呂の周りに配置し腰を掛け、家族単位で足湯を楽しみました。「熱い」といながらも、ニンマリ笑顔。今回は、柴刈りした材の利用を学ぶことを目的としており五右衛門風呂焚きの他、茹でたジャガイモを炙って食べたり、ササの葉を炙って作る「ササ茶」をいただきました。フィールドにはどんぐりの他、アケビや栗が実っており、参加者は実りの秋を堪能していました。



家族水入らずを邪魔するスタッフ



炭でじゃがいもを焼いたよ



じゃがいもウマイ！

【五右衛門役：福本善光】

最初は怖くて泣いていた子ども、帰り際には笑顔で手を振って帰っていきました。子どもは「黄金」です！これからも子どもの心も盗んでいきますぞ。

by五右衛門



・・・【環境教育研究部会 活動報告 10月6日 in 袋町交流フラザ】・・・



北田さんが用意した衣装合わせをする福本さん

今回の主役石川五右衛門の衣装合わせや、火を使うプログラム内容に対して経験させたいこと、また注意すべき点など詳細を確認しながら話を進めました。また、キッズ開催前日には、料理の準備やロープはしごを利用した新たな遊具の設置にも挑戦してみました。環研に係るメンバーの協力に感謝。また、新たに参加してみたい方、welcome！連絡お待ちしております。



縄はしごの取付けを試みる徳永さん

「太田川源流の森」間伐体験指導 10月4日(土): in 吉和

「おいしい水は豊かな森から」広島市水道局のパンフレットの主題に掲げられていますが、森林は、水資源を蓄え、育み、守っている素晴らしい働きがあります。

毎年恒例となった住民参加による森林保全活動。今回は広島市、東広島市、熊野町、竹原市から45名の参加があり、吉和の「太田川源流の森」にて間伐体験を行いました。講師は、もりメイト倶楽部のメンバー20名。この度は特に、啓発活動を進め様々な依頼にも応えていけるようにと「森の話・整備の手順ができる人」を養成する研修の目的も含めており、新旧のメンバーが一組になり指導に当たりました。

広島市水道局パンフレットから引用→



～はじめての「太田川源流の森」ボランティア～

4班: 平田 早苗



左から二人目が平田さん。先輩の富田副会長(左)とペアに。各班に分かれ説明。この日はたくさんの事を教わりました！

■私たちもりメイト倶楽部は、参加者に森林の役割や間伐の意義を伝え、伐倒体験の指導をする事になっていました。私はここに所属して3年目ですが、この行事には初めての参加です。4～5人のグループを経験豊かな先輩と一緒に担当するという事だったので、サブ的な立場かなと思って軽い気持ちで引き受けたのですが、後日届いた詳細資料を見ると、伐倒体験の指導でしっかりメインを務める事になっており、思わず青ざめました。前日の夜は、「1/4、45度、2/3、1/10……」と、呪文のように数字を唱えました。

■当日は朝から雨で、伐倒体験は中止となりましたが、その方法を説明するための準備は予定どおり行

いました。先輩には、伐倒方向や木の切り方はもちろん、養成講座では習わなかったロープ掛けや滑車の設置、ロープの角度の取り方などを、理由とともに詳しく教えていただきました。多くのことが安全確保につながることを理解でき、一つ一つ丁寧な作業が求められることを痛感しました。

■参加者が森に到着すると、先輩は「今、森に入ってきたかもしれませんが、歩いてみてどうでしたか？」と優しく声をかけられました。森を五感で感じることや森の大切さを、対話を通して、参加者自身が気づけるように導く先輩のソフトな語り口に、私もぐっと引き込まれました。話の進め方自体が学びになり、気づけば予定していた時間があっという間に過ぎていました。実演の出番こそありませんでしたが、森林に興味を持たれたグループの女性2人には、しっかりこの倶楽部の宣伝をしたので、少しは役に立てたかなと思いました。

■このように、私にとっては学びの多い一日で、指導していただいた先輩には、大変感謝しています。次に参加する時は、経験を積み自信をもって参加者に森の魅力を伝えられるようになりたいと思います。そのために、まずはマイ山道具「三種の神器」(ヘルメット・手鋸・鉋)をそろえることから始めようと思います。



森にはたくさんのキノコが！

～「太田川源流の森」森林保全活動に参加して～

1班: 吉村 隆文

■前日から激しい雨が降り続き、すっきりしない朝を迎える。せっかくなので、雨の降る森の散歩を楽しもうと早めに家を出て源流の森へ向かう。誰もいない遊歩道、透き通る水の音、傘をさして濡れた森林と戯れる。いつ来てもこの空気感が心地よくて、とても穏やかな気持ちになれる場所。

集合場所には仲間たちが、優柔不断な天気にはヤキモキ。参加者が来られる頃の予報もあまり芳しくないが、まずは準備だけはと会場へ向かう。

■この度の指導は経験の少ないメンバーが主となって進める予定で、みなさん少々緊張気味の様子だが、事前にテキストを読み返したり、もやい結びを練習したようで、頭の中ではすでに予行演習がはじま

っていてとても期待が持てる。

■9つのグループに分かれてロープ掛け開始、パートナーである鋤田さんと一緒に倒す方向・滑車の位置・ロープを引っ張る場所を確認して1つずつ進めていく。8月例会のゆとりの森で伐木体験をされたこともあり、滑車の取り付け向きなどよく理解されていました。最後にロープをもやい結びで固定する作業を行ってもらいましたが、これがなかなか苦戦。家の中の練習通りにはいかず、何度も何度もトライするが決まらない。隣の班の見勢井顧問と広瀬さんを交えて、余った時間でロープワークについて話し合う。自分の体にロープを巻いて、もやい結びを繰り返し練習をしており、次はきつとうまいくでしょう。

■イベントの方は安全を考慮して、1本だけもりメイト倶楽部で切り口をつくり、子ども達に引っ張ってもらう形式で間伐体験は終了、鋤田さんの森の働きの説明は練習の成果が出ていて Good! でした。

■この後、参加者は廿日市市吉和支所に戻って杉の丸太を玉切り体験。大人も子供も思い思いの厚さに木を切って、今日の思い出に持って帰っていました。

十分な森林保全活動はできなかったが、それぞれ感じた自然を、大切にする気持ちを持っていただけたと思います。ありがとうございました。



ここにもキノコ



もやい結びを特訓する鋤田さん。伐倒中の広瀬さんと見守る吉村さん(右)。子ども達はロープを準備。この木は何歳？年輪を数えよう。

広島テレビ「森から防災教室」in 尾長 9月27日

～広テレ間伐指導 & 木エクラフト指導に参加して～

5班: 山地 秀司

■広テレの天気予報士による「森の学習」の後、親子3組と森に入り、直径15cmの木を伐る間伐指導を初めて行いました。

最初に伐る方法を説明し、子ども達に手鋸を使って伐ってもらいました。子ども達も手鋸を使うのは初めてで、楽しくお父さん、お母さんと一緒に伐っていましたが、追い口をつい深く切りすぎて、メシメシと音がして、ロープで引き倒す前に倒れてしまいました。一瞬ヒヤリとしましたが事なきを得ました。状況判断や木のここと、森のことをまだまだ学ばなければならないことを身をもって思い知らされました。

■午後からは、子ども達が箱庭やツリーハウスを製作。穴あけや切込みを入れるのを手伝いましたが、発想力が豊かで、難題をいろいろ突き付けられ、私も一緒になって楽しい時間を過ごすことが出来ました。これから子ども達と森に係る活動にどしどし参加したいと思います。



広テレ気象予報士の塚原さん



木エクラフトを指導中の山地さん。



— 11月 — 活動の予定

倶楽部には多彩な部会もあります。いろいろな活動にチャレンジしてみてください

■日時：11月9日(日) 9:00~15:00

■場所：小川フィールド

■活動予定：竹林整備・竹炭用加工

環境整備(支障木伐採)

*チェーンソー技能UP希望の方お待ちします。

■持参品：水筒・弁当・山の道具

■連絡先：佐藤 090-1682-6305

satoken069@yahoo.co.jp

里山部会

～募集～

「とんと祭」の環境整備「干潟のアシ刈り」のお手伝い

■11月29(土) 10時~15時

申込不要。途中参加も大歓迎!

■1月例会で整備した白潮公園

(中区白島九軒町の河岸)

動きやすい服装、あればカマも。



■11月10日(第2月曜) 18:30~

場所：袋町交流プラザ

内容：第3回もりメイトキッズ打ち合わせ

■11月24日(月・祝) 10:00~12:00

「松ヶ原もりメイトキッズフィールド植物観察会」

※参加費：大人300円(会員・子ども無料)

※一般の方welcome! お誘い合わせご参加を。

■12月6日(土)キッズ事前準備

~松ヶ原もりメイトキッズフィールド~

■連絡先：佐々木

sasaki@morimate-ch.com

環研部会

☆☆☆色々な依頼に応えるために☆☆☆

クラフト作品のアイデアを

大募集しています!

クラフト部会

~以下の見学、参加もお待ちしています~

■11月1日(土)、8日(土) 9時~15時 鹿ヶ谷で作業

■連絡先：岩田 080-5751-3798

12月号の会報発送作業は下記の通り実施します。

どなたでも、都合のつく方はご参加ください。

よろしくお願いいたします。

■日時：11月26日(水) 18:00~

■場所：袋町市民交流プラザ 3F



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。

私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。

【賛助会員】：倶楽部の事業を支援するために入会した個人及び団体。

年会費

【個人会費】：3,000円

【企業会費】：50,000円

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383

【ゆうちょ銀行】15170-18029291

《口座名》：トクヒ モリメイトクラブヒロシマ

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで

【電話】090-6419-7531

【Email】info@morimate-ch.com